

第51回香川県新型コロナウイルス対策本部会議  
(持ち回り開催)  
次 第

日 時：令和3年5月2日（日）

議 題

1. 本県における今後の対応について
2. その他

# 感染拡大防止集中対策期における対策（4月4日以降）について

令和3年4月 3日 令和3年5月2日改正  
 令和3年4月19日改正  
 令和3年4月23日改正  
 令和3年4月24日改正  
 令和3年4月30日改正

○対策期間：4月4日（日）～5月15日（土）

## 1. 県民への協力要請等（法第24条第9項）

### （1）外出について

- 県内における不要不急の外出については、慎重に検討するよう協力要請
  - 他の都道府県との不要不急の往来については、慎重に検討するよう協力要請  
 また、新規感染者数が15人以上/人口10万人/週の地域にあっては、特に慎重に検討するよう協力要請
  - 県外に移動した場合、帰県後14日間は行動記録を取るよう協力要請
  - 国の「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」期間中の対象区域への不要不急の往来自粛を協力要請
  - 外出する場合は、適切な感染防止対策を徹底して行動するよう協力要請  
**別添1**（省略）：気をつけていただきたいこと
  - 発熱等の症状がある場合は、都道府県をまたぐ移動はもとより、外出を控えるよう協力要請
  - 業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドライン等に基づく感染防止策が徹底されていない施設等への外出を控えることを協力要請  
**別添2**（省略）：業種別ガイドライン
  - 厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を積極的にインストールするよう協力要請
  - 施設や店舗等の利用、イベント参加の際、県が導入したLINEアプリ「かがわコロナお知らせシステム」（注）を積極的に利用することを協力要請  
**別添3**（省略）：かがわコロナお知らせシステム
- ※ただし、感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった場合、外出の自粛に関して速やかに必要な協力要請等を行う。

### （2）新しい生活様式の徹底について

- 「三つの密」の回避や「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を徹底することを協力要請  
**別添4**（省略）：「人の接触を8割減らす10のポイント」  
 （令和2年4月22日、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議）
- 別添5**（省略）：「新しい生活様式（生活スタイル）の実践例」  
 （令和2年5月4日、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、一部改正）
- 大人数での会食や飲み会を避けること、大声を出す行動（飲食店等で大声で話す、カラオケやイベント、スポーツ観戦等で大声を出すなど）を自粛することについて協力要請
- 会食をする際には、座席間隔の確保や換気などの三密回避を徹底するよう協力要請
- 感染リスクが高まる「5つの場面」に留意し、そうした場面での会食については、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を行うよう協力要請  
**別添6**（省略）：感染リスクが高まる「5つの場面」及び感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫（令和2年10月23日、新型コロナウイルス感染症対策分科会）

## 2. 事業者への協力要請等（法第24条第9項）

- 飲食店への営業時間の短縮を協力要請（令和3年4月7日～4月20日、4月28日～5月11日）
- 業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドラインや県が策定した適切な感染防止対策に基づき、感染防止対策の徹底を図ることを協力要請

別添 2 (再掲) : 業種別ガイドライン

別添 7 (省略) : 今後における適切な感染防止対策

別添 8 (省略) : 飲食事業者の皆様へ「店舗等での感染防止策の確実な実践」

- 適切な感染防止対策を講じた上で、LINEアプリ「かがわコロナお知らせシステム」(注)を積極的に導入・様式掲示するなど、感染防止対策を徹底していることを示す様式を掲示することを協力要請

別添 3 (再掲) : かがわコロナお知らせシステム

別添 9 (省略) : 掲示様式「新型コロナウイルスうつらない、うつさない」

- 在宅勤務(テレワーク)、オンライン会議などの積極的な活用により、出勤者数の低減に取り組むことを協力要請。特に、この期間は集中的に協力要請
- 出勤した場合には、座席間の間隔を取ることや従業員の執務オフィスの分散を促すことを協力要請
- 時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による通勤等、人との接触を低減する取組みを推進することを協力要請
- 事業所に関係する方が感染した際には、保健所の調査に協力することを協力要請
- 医療機関及び高齢者施設等の設置者において、以下の取組みを実施するよう協力要請
  - ・従事者等が感染源とならないよう、「三つの密」が生じる場を徹底して避けること
  - ・症状がなくても患者や利用者とは接する際にはマスクを着用すること
  - ・手洗い・手指消毒を徹底すること
  - ・パソコンやエレベーターのボタン等複数の従事者が共有するものは定期的に消毒すること
  - ・食堂や詰め所でマスクを外して飲食をする場合、他の従事者と一定の距離を保つこと
  - ・日々の体調を把握して症状があれば早めの受診をすること
- 介護施設等の設置者に対し、県及び高松市が当該施設従事者を対象に緊急に実施する一斉検査の受検に協力することを協力要請
- 高齢者のいる障害者施設等の設置者に対し、当該施設従事者を対象に実施する一斉検査の受検に協力することを協力要請

### 3. 催物(イベント等)の開催(法第24条第9項)

- 催物(イベント等)の開催については、「新しい生活様式」や業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドライン等に基づく適切な感染防止策を講じることを協力要請  
協力要請に応じていただくことを前提にして、国の基本的対処方針等を踏まえ、催物(イベント等)の開催制限の段階的緩和の当面の方針に沿った参加人数等での開催を可能とする。

別添 10 (省略) : 催物(イベント等)の開催制限の段階的緩和の当面の方針について

別添 11 (省略) : 催物(イベント等)の開催にあたっての留意事項について

### 4. 県有施設等における対応

- 適切な感染防止対策を講じた上で開館。ただし、多くの集客が見込まれる県有施設等については感染防止対策の一層の徹底を図る。

### 5. 県の対応

- 感染事例に関する疫学的調査を積極的に進める。
- PCR検査の充実強化を図る。
- 県の新型コロナウイルス感染症対策予算を速やかに執行する。
- ワクチン接種の円滑な実施に向けて、各市町、医療機関、関係団体等と緊密に連携して取り組む。
- 無症状や軽症の新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設を充実する。

### 6. ゴールデンウィーク(令和3年4月29日～5月9日)における集中対策

(別紙:「ゴールデンウィークにおける集中対策について」)

### 7. 国の緊急事態宣言を踏まえた本県の対応

(別紙(省略):「国の緊急事態宣言を踏まえた本県の対応について」)

(注) LINEアプリ「かがわコロナお知らせシステム」は現在、一時利用を停止しています。

## ゴールデンウィークにおける集中対策について

～GWは移動を控えて、みんなで大切な「いのち」と「ふるさと」を守りましょう～

令和3年4月23日

令和3年5月 2日改正

○対象期間：4月29日（木）～5月9日（日）

（まん延警戒警報緊急措置）

### 1. 県民への協力要請（法第24条第9項）

- ・行動にあたっては、十分な感染防止対策をとったうえで、くれぐれも慎重に行動するよう協力要請
- ・帰省・旅行、不特定多数が集まるイベントや集客施設等への参加について慎重に検討すること、また、感染が拡大している地域との往来は延期、自粛、オンライン帰省を活用することなどについて協力要請
- ・まん延警戒緊急要請（休日は家庭で家族と過ごしていただくよう協力要請、マスクはきちんと、飲食時も着用していただくよう協力要請）  
※県ホームページ等を活用した呼びかけなどを実施

### 2. 事業者への協力要請（法第24条第9項）

- ・飲食店に対して、営業時間の短縮の協力を再要請（令和3年4月28日～5月11日）  
※時短実施状況の把握などを行うための巡回を実施
- ・観光地、集客施設周辺の飲食店に対し、感染防止対策の徹底を呼びかける見回りを実施
- ・県外から多くの観光客が見込まれる県内うどん店（約200店舗）に対し、外食業の事業継続のためのガイドラインチェックシートによる感染防止対策の再点検、及び来店者向け注意喚起の掲示について協力要請
- ・県内事業者に対して（関係団体等を通じ）、感染防止対策の徹底について協力要請  
※従業員が多い県内企業、国の出先機関の長に対して個別要請  
※観光施設、大規模商業施設等に対して個別要請
- ・イベント・集客施設・伝統行事の実施について、慎重な判断を求めるとともに、実施する場合は、参加人数の制限の遵守や入場整理（規制入退場、動線管理、雑踏警備等）の強化などによる密集回避・感染防止策を徹底するよう協力要請  
※県主催イベントや大規模な民間主催イベントに対して個別要請
- ・大規模小売店、商業施設等におけるゴールデンウィークの催物・バーゲンセール等について、人数制限など、感染防止策を徹底するよう協力要請

### 3. 特に県内外から多くの集客が見込まれる県有施設の対応

5月3日～5月9日：臨時休園・休館する施設

- ・栗林公園
- ・さぬきこどもの国
- ・県立ミュージアム
- ・東山魁夷せとうち美術館
- ・瀬戸内海歴史民俗資料館
- ・瀬戸大橋記念館

### 4. その他

- ・県立学校の部活動の他校との交流（練習試合・合同練習等）（県内・県外ともに）停止（5月3日～5月9日）
- ・令和3年春の叙勲伝達式（5月6日）の中止及び憲法記念日知事表彰式（5月7日）の延期
- ・各種広報の強化

# 新型コロナウイルス感染症に対する香川県対応方針

令和2年 5月15日  
 令和2年 8月21日改正  
 令和2年12月 8日改正  
 令和3年 1月 8日改正  
 令和3年 3月31日改正  
 令和3年 4月 3日改正  
 令和3年 4月19日改正

		(1) 感染予防対策期	(2) 準感染警戒期	(3) 感染警戒期	(4) 感染拡大防止対策期	(5) 感染拡大防止集中対策期	(6) 緊急事態対策期
県内の感染状況		感染者が確認されていないか、抑制できている状態	一定数の感染者が確認されている状態	一定の感染者が確認されており、感染者が拡大する恐れがある状態	感染者が拡大している状態	感染者が急増している状態	爆発的な感染の拡大が続いている状態（国の緊急事態宣言の対象区域に指定されることを想定）
移行基準	①直近1週間の累積新規感染者数 （直近1週間の人口10万人当たりの累積新規感染者数）	—	5人程度以上 （0.5人以上）	24人程度以上 （2.5人以上）	48人程度以上 （5人以上）	96人程度以上 （10人以上）	239人程度以上 （25人以上）
	②感染経路不明者数の割合	—	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
	③直近1週間と先週1週間の比較	—	—	—	—	直近1週間が先週1週間より多い	直近1週間が先週1週間より多い
	④医療のひっ迫具合（入院医療）	—	—	—	—	確保病床の使用率20%以上	確保病床の使用率50%以上
		（重症者用病床）	—	—	—	入院率40%以下	入院率25%以下
	⑤療養者数 （人口10万人当たりの全療養者数※） ※入院者、自宅・宿泊療養者等を含めた数	—	—	—	—	143人程度以上 （15人以上）	287人程度以上 （30人以上）
	⑥直近1週間のPCR陽性率	—	—	—	—	5%以上	10%以上
解除の判断基準		—	解除にあたっては、新しい対策期に入ってから、一定期間（少なくとも2週間）経過後、新規感染者が減少傾向になっている状態で、①～⑥の指標等を踏まえ総合的に判断				
○各対策期への移行に当たっては、医療提供体制、監視体制（検査・相談等の件数）、クラスター発生状況、他都道府県の発生状況に加え、国において示す早期探知のための指標などを総合的に判断。また、警戒を強める際は、感染の傾向、濃厚接触者の状況、感染地域の状況等を踏まえ、移行基準より早めの移行も検討 ○県独自の「感染警戒宣言」、「緊急事態宣言」は、感染状況等に応じて適時に発出を検討 ○国から特措法に基づく新たな考え方が示された場合には改訂を検討							
共通事項（※1）		3密の回避やマスクの着用など「新しい生活様式」の実践、「かがわコロナお知らせシステム」・「接触確認アプリ（COCOA）」のインストール・積極的活用					
対応方針	県民への要請等	<b>【法に基づかない協力依頼】</b> ①不要不急の感染拡大地域への移動は慎重に検討 ②発熱の症状がある場合は、外出を控える ③「業種別ガイドライン」等に基づく感染防止策が徹底されていない施設等への外出を控える	(1)の対策の徹底	<b>【法24⑨による要請】</b> ・(1)の対策の徹底に加え、国のステージⅢに相当する感染拡大地域への不要不急の移動については、特に慎重に検討	<b>【法24⑩による要請】</b> ・(1)②③の対策の徹底に加え、不要不急の外出・移動は、県内外を問わず慎重に検討。国のステージⅢに相当する感染拡大地域への不要不急の移動については、特に慎重に検討	<b>【法24⑨又は法31の6②による要請】</b> ・(4)の対策に加え、他都道府県の感染状況等も踏まえ、県外への移動自粛の要請を検討 ・「まん延防止等重点措置区域」となった場合には、「まん延防止等重点措置」として、時短要請した時間以降、飲食店にみだりに出入りしないよう要請することを検討	<b>【法24⑨又は法45①による要請】</b> ・県内での外出自粛の要請を検討 ・県外への移動自粛の要請を検討 ・「緊急事態宣言対象区域」となった場合には、「緊急事態措置」として、日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛（特に夜間の自粛の徹底）について要請を検討
	事業者への要請等	<b>【法に基づかない協力依頼】</b> ・「業種別ガイドライン」等の徹底、遵守様式の掲示 ・在宅勤務（テレワーク）、オンライン会議、時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による通勤の推進 ・席間確保や執務オフィスの分散		<b>【法24⑨による要請】</b> ・(1)の対策の強力な推進	<b>【法24⑩による要請】</b> ・(3)の対策に加え、飲食店に対する時短要請を検討	<b>【法24⑨又は法31の6①による要請】</b> ・(4)の対策のほか、 ・「まん延防止等重点措置区域」となった場合には、「まん延防止等重点措置」として、飲食店に対する時短要請を検討	<b>【法24⑨又は法45②による要請】</b> ・(4)の対策のほか、 ・「緊急事態宣言対象区域」となった場合には、「緊急事態措置」として、飲食店に対する時短要請を検討
	イベント等の開催（※3）	<b>【法に基づかない協力依頼】</b> ・「催物（イベント等）の開催に当たっての留意事項」や「新しい生活様式」、「業種別ガイドライン」等に基づく適切な感染防止対策の徹底を前提に開催		<b>【法24⑨による要請】</b> ・(1)の対策と同様	<b>【法24⑩による要請】</b> ・(1)の対策と同様	<b>【法24⑨又は法31の6①による要請】</b> ・(1)の対策に加え、 ・「まん延防止等重点措置区域」となった場合には、「まん延防止等重点措置」として、国の方針を踏まえた規模要件等を設定し、その要件に沿った開催の要請を検討	<b>【法24⑨又は法45②による要請】</b> ・(1)の対策に加え、 ・「緊急事態宣言対象区域」となった場合には、「緊急事態措置」として、国の方針を踏まえた規模要件等を設定し、その要件に沿った開催の要請を検討
	県有施設等における対応	適切な感染防止対策を講じた上で開館		・(1)の対策と同様	・(1)の対策と同様	・(1)の対策に加え、 ・「まん延防止等重点措置区域」となった場合には、「まん延防止等重点措置」として、時短を検討	・(1)の対策に加え、 ・「緊急事態宣言対象区域」となった場合には、「緊急事態措置」として、時短を検討
○各対策期における措置の実施の要否に当たっては、医療提供体制、監視体制（検査・相談等の件数）、クラスター発生状況、他都道府県の発生状況などを総合的に判断。また、対策期ごとに上記以外の対策を講じることも想定 ※1 対策期に応じて、特措法による要請の適用 ※2 休業等を要請する「感染拡大につながる恐れのある施設」については、県内の感染事例や国の基本的対応方針等を考慮して判断 ※3 イベント等の開催については、国の基本的対応方針等を踏まえ、屋内外の別を考慮して、参加人数のほか、施設の収容定員に対する参加人数の比率等を総合的に判断 ○他の都道府県において国の緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発出された場合は、基本的対応方針や対象区域における対策等を踏まえ、本県の対応を検討							

# 香川県の現状

【4/4～感染拡大防止集中対策期】

直近1週間の 累積新規感染者数	先週1週間の 累積新規感染者数
157人	92人

5月 累積新規感染者数 (5月1日現在)	4月 累積新規感染者数
29人	432人

指 標	5月1日現在
① 直近1週間の累積新規感染者数 (対人口10万人)	10万人当たり <b>16.4人</b> <直近1週間 (4/25～5/1) 157人 >
② 感染経路不明者数の割合	<b>40.1%</b> <①の 157人 のうち感染経路不明は 63人 >
③ 直近1週間と先週1週間の比較	<b>1.7</b> <先週1週間 4/18～4/24) 92人 >
④医療のひっ迫具合 (入院医療：確保病床の使用率)	<b>45.5%</b> <入院患者 95人 / 病床209床 >
// (入院医療：入院率)	<b>47.3%</b> <入院患者 95人 / 療養者数 201人 >
// (重症者用病床：確保病床の使用率)	<b>7.7%</b> <重症患者 2人 / 病床26床 >
⑤ 療養者数 (対人口10万人)	10万人当たり <b>21.0人</b> < 201人 [入院 95人、宿泊療養等 106人] >
⑥ 直近1週間のPCR陽性率	<b>2.9%</b> <陽性 157人 / 検査数 5466人 >

(参考) 国分科会提言 (R3.4.15) における指標及び目安	
ステージⅢ	ステージⅣ
1週間10万人当たり 15人以上	1週間10万人当たり 25人以上
50%以上	
—	
20%以上	50%以上
40%以下	25%以下
20%以上	50%以上
10万人当たり 20人以上	10万人当たり 30人以上
5%以上	10%以上

# 新型コロナウイルス感染症変異株の状況

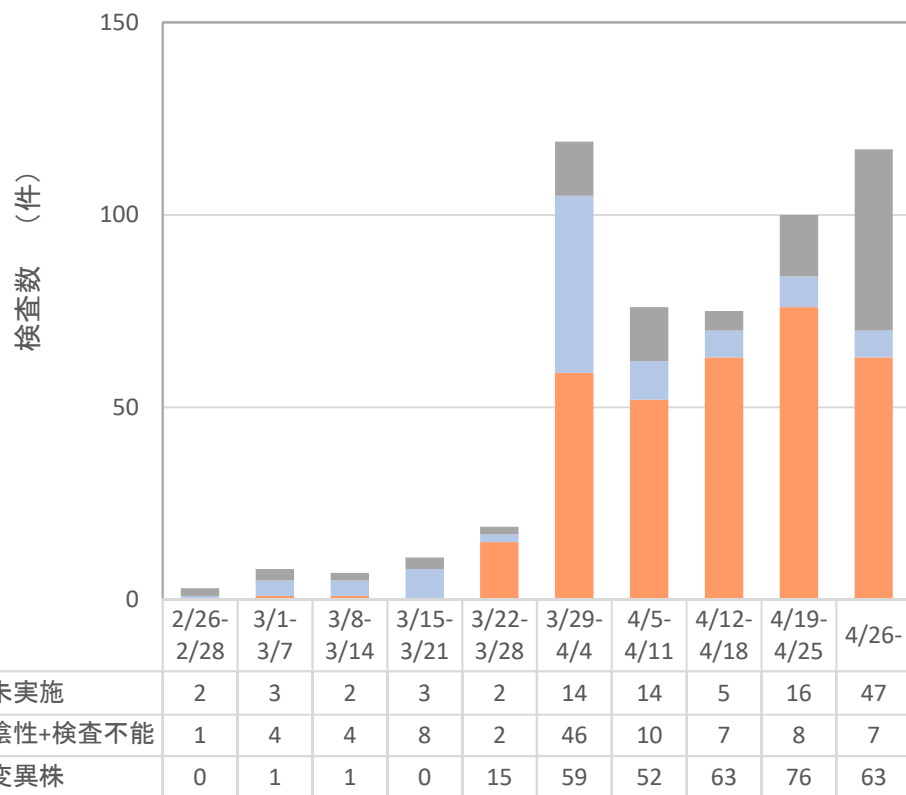
○スクリーニング検査実績 (1月9日から4月30日まで)

全期間 陽性者 867件、実施数 626件(実施率 72.2%、変異株 330件 (52.7%)

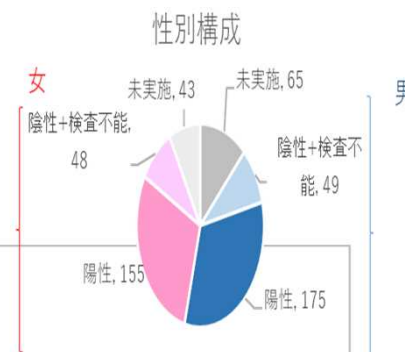
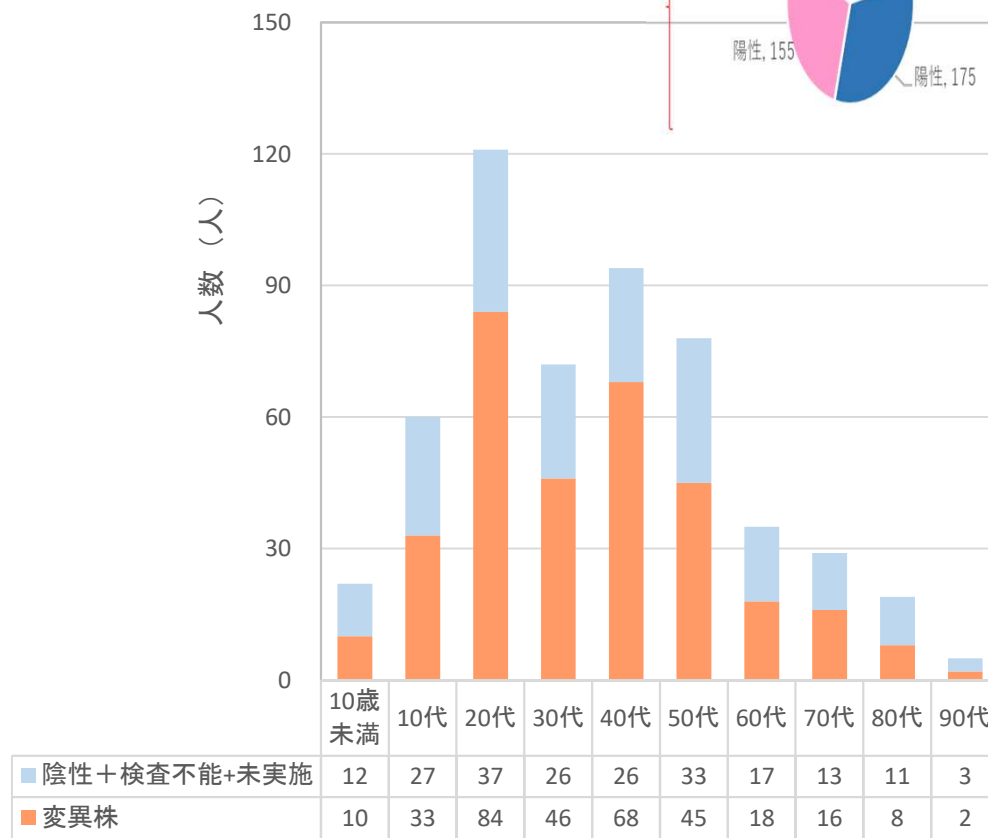
4月 陽性者 432件、実施数 338件(実施率 78.2%、変異株 289件 (85.5%)

発症ベース：R3.2.26～R3.4.30

スクリーニング検査実施状況



陽性者年齢構成





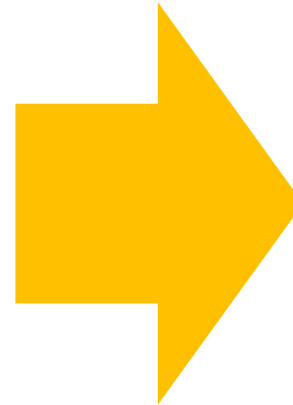
# 年代別感染者の状況

① 4月18日～4月24日

年代	人数	割合
10歳未満	1	1.1%
10歳代	3	3.3%
20歳代	28	30.4%
30歳代	8	8.7%
40歳代	19	20.7%
50歳代	14	15.2%
60歳代	9	9.8%
70歳代	8	8.7%
80歳代	1	1.1%
90歳以上	1	1.1%
合計	92	100.0%

② 4月25日～5月1日

年代	人数	割合
10歳未満	6	3.8%
10歳代	22	14.0%
20歳代	44	28.0%
30歳代	14	8.9%
40歳代	22	14.0%
50歳代	17	10.8%
60歳代	12	7.6%
70歳代	10	6.4%
80歳代	9	5.7%
90歳以上	1	0.6%
合計	157	100.0%



この1週間で

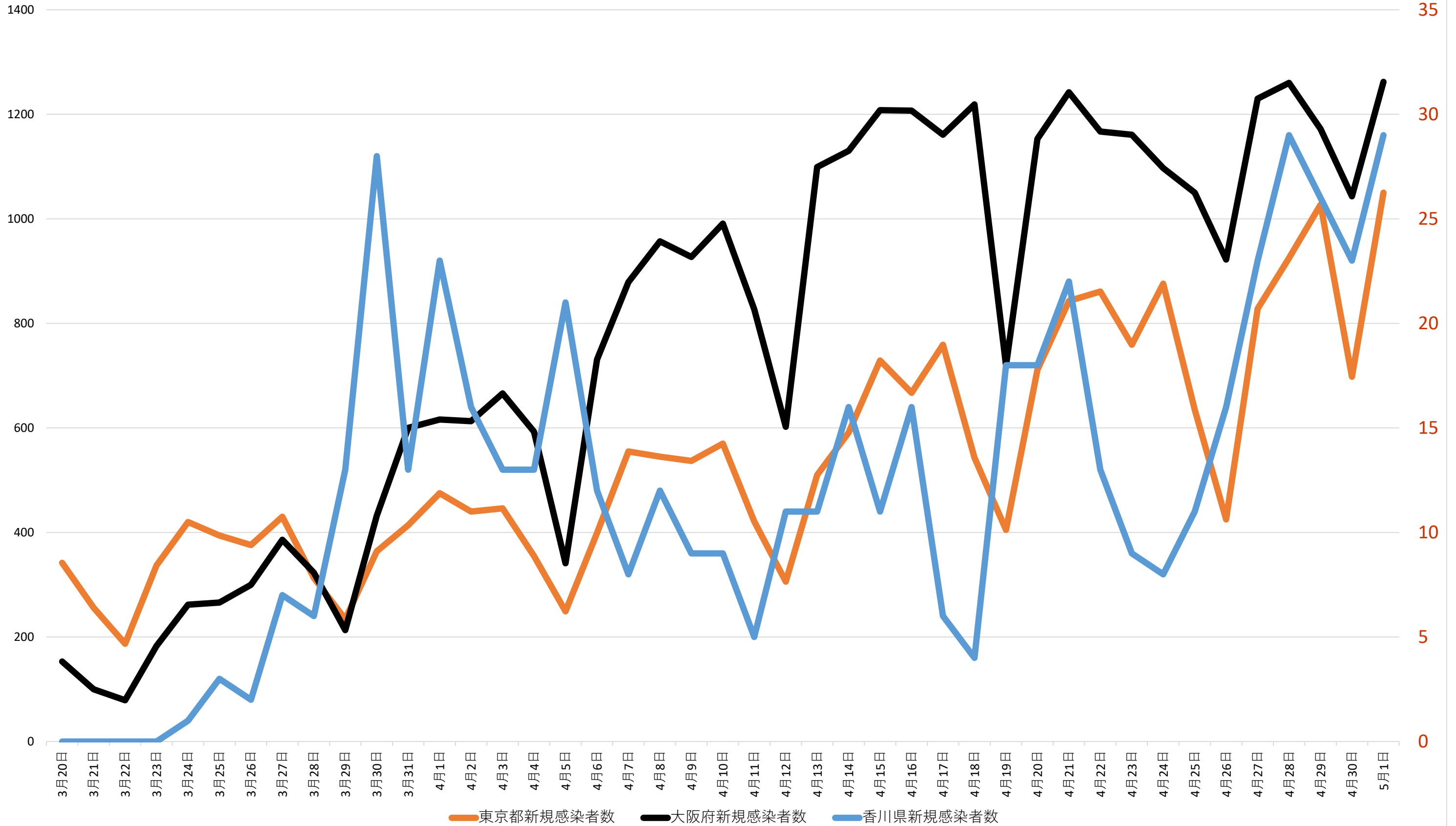
- 若年者（10・20・30歳代）感染者が急増（39人→80人）
- 感染者のうち若年者の割合も増加（42.4%→50.9%）



### 香川県、東京都及び大阪府の新規感染者数の推移（R3.3.20～5.1）

[東京・大阪（人）]

[香川（人）]



まん延警戒警報 発令中

まん延警戒緊急要請

▶ 休日は、ご家庭でご家族と！

▶ マスクはきちんと、飲食時も！